

将来の自分を思い浮かべながら！

～新庄中核工業団地で工場見学会を開催～

11月9日(月)、新庄中核工業団地(新庄市福田山)で工場見学会が開催されました。新庄神室産業高校の生徒57名、団地内企業、新庄商工会議所、行政関係者などが参加し、(株)エッサム、(株)新庄エレメックス、(株)モリタ興産、(株)山形東亜DKK、(株)ヤマトテックの5社を見学しました。

この見学会は、地元高校生に地元企業を知ってもらうことにより、地域への定着と人材確保を図り、併せて、団地内企業間の交流も促進したいという趣旨で、新庄中核工業団地立地企業協議



一生懸命メモを取っていました



説明を真剣に話を聞く高校生の姿がとても印象的でした

会(46社、会長:佐藤東洋彦佐藤運送社長)が主体となり開催されたものです。参加した高校生からは、具体的な目標をしっかりと持とうという意欲が強く感じられ、「就職するにはどんな勉強をすればよいか」などと質問する場面もありました。また、主催者の佐藤会長からは、今後、団地内全社を対象にした見学会を開催したいとの話がありました。

商工観光振興室 0233-29-1309

若者の6割が「将来最上地域に住みたい！」

～若者定住に関する「高校生の意識調査」を実施しました～

最上地域の人口は減少の傾向にあり、若者の地域外流出に歯止めをかけることが最上地域の大きな課題となっています。

このため、若者の流出防止に視点を置き、最上地域における定住のための課題を調査することを目的に、9月から10月にかけて管内のすべての高校3年生843人を対象に意識調査を実施しました。

調査結果

①将来最上地域に住み続けたいと思いますか

- ◇「住みたい」(15.2%)
- ◇「一度地域を離れるが戻ってきて住みたい」(44.5%)
(「住みたい」合わせて59.7%)
- ◇「できれば住みたくない」(23.0%)
- ◇「住みたくない」(16.2%)
(「住みたくない」合わせて39.2%)

②住みたいと思う理由

- ◇「地域に愛着がある」(53.8%)
- ◇「自然環境に恵まれている」(29.4%)
- ◇「家族がいる」(28.2%)
- ◇「友人・知人が多い」(27.7%)

③住みたくないと思う理由

- ◇「希望する働く場がない」(46.5%)
- ◇「ショッピングするところがない」(31.1%)、
- ◇「遊ぶ場所がない」(27.2%)
- ◇「賃金など労働条件が悪い」(21.8%)

④将来就職したいと思っている地域

- ◇「県外」(52.3%)
- ◇「最上地域外の市町村」(18.6%)
(最上地域外 合わせて70.9%)
- ◇「いま住んでいる市町村」(14.3%)
- ◇「最上地域内の市町村」(9.2%)
(最上地域内 合わせて23.5%)

⑤将来就職を希望する業種

- ◇「医療、福祉」(19.2%)
- ◇「公務」(14.3%)
- ◇「教育、学習支援業」(8.5%)
- ◇「製造業」(7.5%)
- ◇「生活関連サービス業、娯楽業」(6.3%)

⑥若者が定住するために、特に充実する必要があることとして多く寄せられた意見

- ◇「働く場を増やす」(31.7%)
- ◇「若者向けの店を増やす」(20.2%)
- ◇「娯楽施設の充実」(17.0%)
- ◇「交通の便を良くする」(11.9%)



今後の施策に生かします

～「地域議員協議会」を開催しました～



最上総合支庁講堂にて

11月17日(火)、最上総合支庁講堂において、今年度第2回目の最上地域議員協議会が開催されました。地元選出の県議会議員で構成される委員4名が出席し、地域における行政課題や施策展開についての審議が行われました。

今回は、新型インフルエンザ対策、「つや姫」の今後の展望、政権交代による各種事業への影響、観光PRの強化等についての質疑や意見交換が行われました。

総務課 0233-29-1205

吉村知事と地域住民とが活発に意見交換

～「知事と語ろう市町村ミーティング」が開催されました～

◆市町村ミーティングinさげがわ



主な発言内容

- ・「ひめゆり荘」の入所待機者解消について
- ・一般県道曲川・新庄線の整備について
- ・宇津森土地改良区の整備について
- ・「最上川」の今後の活用について
- ・「モンテディオ山形」J1定着について
- ・工業技術センターの設置について
- ・今後の障がい者福祉行政の推進について
- ・地デジ難視区域への改善策について
- ・環境保全と農作物生産について

11月13日(金)に鮭川村農村交流センター、11月30日(月)に舟形町中央公民館を会場に「知事と語ろう市町村ミーティング」が開催されました。

このミーティングは、県内の市町村を知事が訪問し、地域住民の方と直接対話することで、地域が抱える課題や県政課題を把握し、県政に反映することを目的としています。

ミーティングは、参加者の質問や意見に知事が答える1問1答方式で進められ、産業、農業、環境、文化、教育、少子化など幅広い分野で、たくさんの意見交換が行われました。

総務課 0233-29-1360

◆市町村ミーティングinふながた



主な発言内容

- ・農業の担い手育成について
- ・「さんさんプラン」について
- ・少人数学級制度の運用について
- ・高校生ボランティアの活動について
- ・土偶を活用した地域活性化について
- ・企業誘致と若者の働く場について
- ・最上地域の医師確保について
- ・療育訓練センター設置について
- ・県道56号線の整備について
- ・産業廃棄物処理施設の管理について



町村長が立会人となり、がっちり握手する商工会会長のみなさん

“新生商工会”の誕生に向けて

～もがみ北部商工会・もがみ南部商工会設立に向け 合併契約締結～

最上管内の7町村商工会は、業務の広域化に対応し、効率的運営と指導機能強化を図るために、真室川町・金山町・戸沢村・鮭川村の各商工会は「もがみ北部商工会」を、最上町・舟形町・大蔵村の各商工会は「もがみ南部商工会」を合併設立することとし、11月30日、12月1日にそれぞれ合併契約を締結しました。どちらも来春4月1日の合併スタートを目指します。新生商工会は、商工業の経営支援や地域経済活性化などにさらに大きな力を発揮することが期待されております。

商工観光振興室 0233-29-1309

日頃の活動が評価されました

11戸の小さな集落が偉業達成！

～木の根坂自治会が農林水産大臣賞を受賞～

平成21年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、鮭川村の木の根坂自治会(会長:井上喜子夫)が農林水産大臣賞を受賞しました。「みやまの里木の根坂」の開店、都市との交流、山菜実証ほ場の設置、試食会、ワークショップの開催など様々な面でのむらづくりが高い評価を受けました。木の根坂地区は、今年1月には「日本のふる



木の根坂自治会様(写真中央)

さと100選」にも選ばれており、今後大いに注目を集めそうです。

農村計画課
0233-29-1340

舟形マッシュルームに注目！

～舟形マッシュルームが農林水産大臣賞を受賞～

マッシュルームの周年化による安定生産と食品の安全性に対する消費者ニーズへの対応、環境にやさしい生産技術の確立、未利用資源の有効活用等が評価され、有限会社舟形マッシュルーム(舟形町・長沢光芳社長)が、山形県ベストアグリ賞の最高賞である農林水産大臣賞を受



文翔館(旧県庁)にて

賞しました。11月13日(金)、山形市の文翔館(旧県庁)において、表彰式が行われました。今後も舟形マッシュルームから目が離せません。

農業技術普及課 0233-29-1328

さらなる活躍にご注目ください！

～最上農業賞が決まりました～

最上地域農業・畜産振興協議会(会長:新庄市長)では、平成元年から最上地域の優秀な農業者や組織を表彰しています。

今年度は、組織活動部門で、①JA新庄もがみ北部営農センター昭和酪農部会(新庄市昭和)と②農事組合法人サンフレッシュ(最上町法田)の2団体が受賞しました。今後、ますますの活躍にご注目ください。



農業技術普及課
0233-29-1328
農事組合法人サンフレッシュ様(前列左)、JA新庄もがみ北部営農センター昭和酪農部会様(前列右)

日々の活動に感謝いたします

～山形県県土づくり感謝状贈呈式～

公共施設等の利用環境の改善や安全性の向上等に著しい功績のあった民間の団体及び個人(県全体:8団体28個人)に対して、11月26日(木)吉村知事から感謝状が贈呈されました。最上管内で贈呈されたのは、次の方々です。

道路美化部門:肘折温泉郷振興会(大蔵村大字南山)、河川・海岸等の美化部門:向町八区会(最上町大字向町)、道路情報伝達等部門、阿部



左から、向町八区会様、斉藤克美様、肘折温泉郷振興会様

百合子様(舟形町堀内)、地すべり急傾斜地巡視業務部門:斉藤克美様(真室川町大字及位)

建設総務課 0233-29-1391

「万が一」に備えて

～「高病原性鳥インフルエンザ防疫演習」を実施しました～

渡り鳥が飛来する季節を迎え、鳥インフルエンザの発生が懸念されるシーズンとなりました。「万が一」に備え、防疫作業が的確に実施できるよう、11月4日(水)に最上総合支庁で市町村職員や県職員等約60名が参加し、防疫演習を行いました。

演習では、養鶏場に入出入りする車両を想定した車両消毒作業の確認を行い、汚染の拡大防止に向けて動力噴霧器を使って真剣な表情で作業に取り組みました。また、防護服の着用方法と安全な脱ぎ方の訓練も行いました。

家畜保健衛生課 0233-29-1355



防護服の安全な脱ぎ方



車両消毒作業の様子

最上伝承野菜が旬です！

最優秀賞には・・・？

～料理コンテストを開催しました～

11月22日(日)、新庄市民プラザを会場に開催された最上伝承野菜フォーラムの中で、最上伝承野菜料理コンテストが行われました。伝承野菜を使った22点の料理の応募があり、最優秀賞には「からどりまんじゅうとエゴマまんじゅう」、優秀賞には「漆野いんげんあんみつ風」と「からどりシュークリーム」が選ば



れました。どの料理も最上伝承野菜を活かしたアイデアいっぱいの作品ばかりで、伝承野菜の新たな可能性を集まった観客に大いにPRしました。

農村計画課 0233-29-1341

伝統の味に高校生が挑戦！

～料理講習会を開催しました～

最上伝承野菜を使った料理講習会が、11月25日(水)、県立真室川高等学校の2、3年生21人を対象に開催しました。新庄市「割烹つたや」料理長の渡邊紀元さんの指導のもと、「いものこ汁」、「炊き合わせ」などの伝統料理に挑戦しました。出来上がった料理は、どれもプロ顔負けのものとなり、渡邊料理長は「すばらしい。もっと多くの若い人に地



域の味を知ってほしい。」と熱く語っていました。

農村計画課

0233-29-1341

「飾り切り」って難しい～！

お知らせ Information

山形新幹線新庄延伸10周年記念イベント

- ◆月日 12月5日(土)
 - ◆場所 JR新庄駅ホーム内
 - ◆内容 「SLつばさ10周年号」と「げんきな山形号」(つばさ)の出発セレモニー
 - ・8:00 セレモニー 8:45出発 南新庄駅付近まで並走
 - 「団体臨時列車」(リゾートみのりの運行)
 - ・12:27 新庄到着(仙台発) 12:50 酒田駅に向けて出発
 - ◆月日 12月6日(日)
 - ◆場所 JR新庄駅ホーム内
 - ◆内容 団体臨時列車「つばさ」と「つばさ」の運行
 - ・11:40 新庄到着(福島発) 12:20新庄発(秋田着)
 - 「SL湯けむり号」の運行
 - ・12:44 新庄到着(小牛田発)
- 商工観光振興室 0233-29-1311

「東北のへそ 産直まつり」の開催について

- ◆日時:12月5日(土) 10:00～15:00
 - ◆場所:ゆめりあ 花と緑の交流広場
 - ◆内容:農産物・農産加工品の直売(野菜、きのこ、漬物、もち等)、軽食コーナー(いものこ汁、甘酒、手作り餃子、焼おにぎり等)、農産加工品の展示コーナー、温泉紹介コーナー
 - ◆出店:最上地域19団体、大崎地域4団体、雄勝地域2団体
 - ◆日時:12月5日(土) 13:00～14:30
 - ◆場所:ゆめりあ 2階ホール・アベージュ
 - ◆内容:〇パネルディスカッション「産直の今後を考えよう」
 - ・最上・大崎・雄勝の産直の事例紹介
 - ・旅行エージェンツから見た産直の魅力について
- 商工観光振興室 0233-29-1311

Information

地域づくり団体「最上の元氣研究所」開所記念講演会

- 地域づくり団体「最上の元氣研究所」開所記念講演会
「地域力の醸成と循環型社会を考える集い・・・高島町の実践に学ぶ」
- 講師:宮原博通氏
(南地域環境デザイン研究所所長・東北文化学園大学客員教授)
宮原育子氏(宮城大学事業構想学部教授)
 - 日時:平成21年12月6日(日)13:30～17:00
 - 場所:新庄市雪の里情報館 大ホール
- ※参加無料 地域支援課 0233-29-1236

「年末の交通安全県民運動」のお知らせ

実施期間:12月1日(火)～12月10日(木)

運動の重点

- 飲酒運転の撲滅
- 高齢者の交通事故防止
- 5分早めの行動で冬道の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 歩行者保護意識の向上と交差点における追突事故防止

地域支援課 0233-29-1244

本通信は、最上総合支庁が毎月発行する「最上総合支庁だより」です。最上総合支庁1階ロビーに常備しています。山形県庁ホームページ(最上総合支庁http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo)からもご覧いただけます。

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。



発行日:平成21年12月1日
発行元:山形県最上総合支庁 総務課 総務係
電話 0233(29)1360 Fax 0233(23)2605